

減点が多くて困ってマス

de jh4utp

混信や雑音の中を浮かんでは消えるか弱いコールサインとコンテストナンバーを、全神経を集中してログに記録し続けていらっしゃるコンテスターのみなさま、こんにちは。

人一倍多い減点をなんとか減らしたいと、研鑽を続けて早幾年。強豪のみなさまはまだまだ遥か彼方です。そんな一進一退の日々をご紹介します

1. 審査の発展と減点

(1) 減点のなかったその昔

手書きログの時代は、全 QSO を照合する審査はごく一部でした。減点はあるも僅かで、自己申告通りの発表も多かったように思います。結果発表の後に水増し疑惑が持ち上がり失格ということも繰り返されていました。「ミスコピーが減ると得点が減る」と言う方もいました。良心がグラグラと揺れたり、嫌気がさしたことも度々でした。

(2) KCJ と KCWA の順位は特別だった

そんな時代では、ログが一致した交信だけが得点になるKCJやKCWAの順位は、うそやごまかしのない特別な荣誉でした。審査の結果はいつも楽しみでしたが、順位表の前後の皆さんよりいつもミスコピーが多く、CWの下手さ加減を自覚するよい機会でもありました。

KCJ	IM	MR
2002	1	0
2003	4	1
2005	1	0
2006	3	0
2008	2	0
2009	1	0
2011	0	1
2012	2	3
2013	2	5
2016	0	0
2018	0	2

送信速度を落として、受信に集中し、自信がもてるまで聞き直し、モニターで入力結果を確かめて確定する。低速で信号の強い国内なら、これでだいぶよくなってきました。

(注)ミスコピーの種類

IM:相手のコールサイン

MR:相手が送ってきたマルチ

(3) RDXC の洗礼

RDXC はシリアルナンバーで、ミスコピーは3QSO減点という厳しめな規約です。初挑戦の2006年は、なんと得点が半分以下に減りました。全世界でトップクラスのペナルティでした。順位がお隣のJA#2は僅か17%の減点です。当時はまだ珍しかったUBN (Unique, Busted or Not-In-the-Log) reportも届きました。長短点と連続短点の間違いがほとんどで、我ながら耳がおかしいのではないかと思うほどでした。翌2007年は得意なつもりだったSSBで名誉挽回のはずでしたが、これまた半分近く減点されました。

ここでやっと、自分が異常に減点が多いことを自覚したのでした。UBNのおかげです。それからは減点を減らすことも目標になりました。減点が一番少なかったのは2015 SOAB MIXの78%です。このときの1位は89%、2位は84%でした。強豪のみなさまの背中はずいぶん遠いです。その後も相変わらず70%台を行き来しています。

RDXC	SO AB	Claimed QSO	Final QSO	Score F/C	お隣 JA
2006	CW	771	629	46%	83%
2007	SSB	411	342	52%	74%
2008	CW	773	681	69%	73%
2009	CW	874	774	74%	78%
2010	CW	1167	1041	76%	82%

(4) 減点を減らさないと勝てない

現代ではログの照合はあたりまえになりました。ライバルのスコアに疑心暗鬼となることなく競争を楽しむことができ、LCR (Log Checking Report) で質の向上も楽しめる素晴らしい時代になったと思います。主催者のみなさまに感謝です。

LCRは間違いを明確に指摘してくれますが、間違いの原因は自分で見つけて改善しなければなりません。Claimed scoreから順位を落として自分の未熟を呪うことがしばしばの私には、減点を減らすことは重要な課題です。

K1DGのReading and Learning from your Log-Checking Reportも減点を減らす一助となるでしょう。CTUかNCJのwebでぜひご一読ください。

JH4UTP Score Reduction A : average, M : median

	WW SSB	WW CW	WPX RTTY	RDXC	WPX CW
2011	13.4%	13.4%	15.8%	27.1%	-
2012	12.4%	15.3%	14.2%	28.3%	-
2013	10.1%	8.0%	10.0%	-	-
2014	7.7% A 10.3%	8.9% M 8.2%	9.7%	24.1%	-
2015		7.0% A 12.4%	11.0%	21.9%	-
2016	6.3% A 12.1%	-	-	22.2%	13.2%
2017	7.5%	15.3% A 15.5%	9.2%	23.2%	11.0%
2018	8.0% A 13.7%	11.2% M 8.0%	8.0% A 7.9%	-	14.6%
2019			16.2% A 9.2%	?	?

2. なぜ減点が多いのか

(1) CWの訓練不足

実戦が上達の早道と信じていましたが、コールとナンバーしか取れない人が数か月に1回やるだけですから、上達どころか老化退行しているに違いありません。毎回、数時間かけて調子があがり、やがて疲れて聞き直しばかり、の繰り返しです。競技と整備が精いっぱい練習は難しいんだよね、なんて自分で言い訳しているようでは立派な訓練不足です。

(2) 聞き間違いが多い

SSB もミスコピーが多いので、耳と脳にも問題がありそうです。録画面面の電話番号が何回聞いても違う番号に聞こえた経験もあります。これでは何回も送信してもらうしかなさそうです。

短期記憶も弱いようです。6文字位が限界で、文字が抜けたり、順序が入れかわることもあります。疲れてくるとどんどん悪化します。

アジアの皆さんの電話は、何回くり返してもらってもわからないことが多いです。これは別問題かな？

(3) キーボードの入力ミスが多い

お隣キーが多いです。入力結果をモニターで確かめるようにしているのですが、疲れてくるといい加減になっています。

(4) だらうオペ

ちゃんと聞こえていないのに、これでまちがいないだらうとログイン。数局よばれて多分あっているだらうと一発コピーぽくログイン。もう一度確かめておけば減点されなかったかもしれません。間違っていたら相手が訂正してくれると思ったら大間違いです。

(5) RTTYの文字化けに不注意

画面をマウスでクリックするだけで耳もキーボードも関係ない RTTY でも減点が多いのです。デコーダ同士で多数決をしてきましたが、同じデコーダで2回以上同じになるまで AGN がよいようです。

(6) 局環境が悪い

CW,SSB,RTTY に共通する原因として、電気柵のクリックや、近隣ノイズが怪しいです。NBはRTTYでは使わず、CW で使うときは何回か聞き直すようにしつつあります。

電波が弱いから弱い局しか呼んでこず、間違いが増えるのではと勘ぐったこともあります。さすがにこれはヘボオペを柵に上げた現実逃避ですネ。

(7) ツールの使い方が下手

マスターとコールヒストリーは信頼できるものを使い、確定前にチェックするだけで減点を減らせそうです。ユニークの場合は何回も確かめるべきなのですが、結構そのまま確定しています。

ローカルスキマーは文字化けが多いので認証レベルをあげました。

(8) SO2R で余裕がなくなる

1R ならなんとかできそうですが、SO2R で同時QSO になるとおそろかになっていそうです。

減点の少ない参加者を発表するコンテストも増えてきました。ミスのない Golden log には順位以上の価値を感じます。高得点で正確な運用は本当に凄いと憧れます。めざせ、減点王脱出！